

# 経済日誌

4月

P=ポイント

国	内
1日	<b>3月日銀短観、全産業業況判断指数改善</b> 3月の日銀短観で、全産業の業況判断指数はマイナス8と前回調査(2020年12月)に比べ7P改善。製造業はマイナス6と同14P上昇の大幅改善。非製造業はマイナス9と同2P上昇の小幅改善。
6日	<b>2月家計調査、1世帯当たり消費支出25万2,451円</b> 2月の家計調査で、1世帯当たり(2人以上の世帯)の消費支出は緊急事態宣言の再発令などにより、物価変動を除く実質で前年同月比6.6%減の25万2,451円と3カ月連続減少。
7日	<b>2月景気動向一致指数、2カ月ぶりに低下</b> 2月の景気動向一致指数(速報値、2015年=100)は前月比1.3P低下の89.0と2カ月ぶりに低下。基調判断は「景気動向一致指数は、上方への局面変化を示している」。
7日	<b>3月生活意識に関するアンケート調査、景況感改善</b> 日銀が発表した3月の生活意識に関するアンケート調査(全国の満20歳以上の個人)で、現在の景況感判断指数(DI)はマイナス69.4と前回調査(2020年12月)比0.8P改善。
8日	<b>2020年度全国企業倒産件数、30年ぶりの低水準</b> ㈱東京商工リサーチが発表した2020年度の全国企業倒産件数(負債額1,000万円以上)は、資金繰り支援等が奏功し、前年度比17.0%減の7,163件と1990年度に次ぐ低水準。
8日	<b>3月景気ウォッチャー調査、景況感2カ月連続改善</b> 3月の景気ウォッチャー調査で、景気の現状判断指数(DI、季節調整値)は、家計動向関連などすべての判断指数が上昇し、前月比7.7P上昇の49.0と2カ月連続改善。
8日	<b>2月国際収支統計、経常収支7カ月ぶり黒字幅縮小</b> 2月の国際収支統計(速報)によると、海外とのモノやサービスなどの取引状況を表す経常収支は前年同月比4.7%減の2兆9,169億円と7カ月ぶりに黒字幅が縮小。
15日	<b>日銀4月地域経済報告、2地域で景気悪化</b> 4月の地域経済報告は、各地域の景気の総括判断は「厳しい状況にある」としつつも、全体としては「持ち直し基調にある」または「持ち直しつつある」。前回(1月)比では北海道と東北が悪化。
19日	<b>2020年度貿易統計、輸出前年度比8.4%減</b> 2020年度の貿易統計(速報)で、輸出は前年度比8.4%減の69兆4,873億円、輸入は前年度比11.6%減の68兆1,803億円。輸出入いずれも2年連続の減少。
25日	<b>東京、大阪、京都、兵庫に3回目の緊急事態宣言</b> 政府は東京、大阪、京都、兵庫の4都府県に3回目の緊急事態宣言を発令。期間は4月25日～5月11日まで。酒類やカラオケを提供する飲食店などに休業を要請。

県	内
1日	<b>えびの高原荘、リニューアルオープン</b> 県営国民宿舎えびの高原荘は、今年度から指定管理者の㈱レジャークリエイティブホールディングス(宮崎市)が運営する施設「ホテルピコ ラナイ えびの高原」としてリニューアルオープン。
10日	<b>椎葉村、交流拠点施設「irori(いろり)」完成</b> 椎葉村不土野の尾向地区に公民館と簡易宿泊所を兼ねた交流拠点施設「irori(いろり)」が完成。同地区には若い世代が多く、交流人口増加による活性化が期待される。
14日	<b>女子サッカー米国代表、本県で東京五輪事前合宿</b> 県は東京五輪の女子サッカー米国代表が宮崎市で事前合宿を行うことを発表。他にもドイツ、フランスなど6カ国のボクシング代表が事前合宿を行う。外国人チーム受け入れノウハウ蓄積が評価された。
15日	<b>本県ブランド完熟マンゴー「太陽のタマゴ」初競り</b> 本県ブランド完熟マンゴー「太陽のタマゴ」の販売が全国一斉に解禁。初競りの初日、過去最多の4,956箱(1箱1~3玉入り、約1キロ)が出荷され、宮崎中央卸市場では4Lサイズ2玉に全国最高の20万円の値が付いた。
16日	<b>宮崎市、地域版ふるさと納税制度新設</b> 宮崎市は市内22の地域自治体にある27の地域まちづくり推進委員会を応援する取組みとして、地域版ふるさと納税制度を新設。寄附したい団体を指定でき、返礼品がないのが特徴。
16日	<b>延岡市、「スーパーシティ」構想へ応募</b> 延岡市はAI(人工知能)やビッグデータなどの技術を活用した先進都市をつくる国家戦略特別区域「スーパーシティ」構想に関する提案書を本県で唯一、内閣府に提出。
20日	<b>都城市、地域版マイナポイントシステム構築へ協定</b> 都城市は地域版マイナポイント事業として、市内で買い物に使用できるポイントシステムを構築するため、システム開発会社レヴィアス(東京都)、日本青年会議所九州地区協議会と三者協定を締結。
20日	<b>2021年熊本国税局管内酒類鑑評会、本県15銘柄優等賞</b> 2021年熊本国税局管内4県(宮崎、大分、熊本、鹿児島)の酒類鑑評会で、本県の15銘柄が優等賞に選出。内訳は本格焼酎部門で10製造場13銘柄、清酒部門で2製造場2銘柄。
21日	<b>県、「みやざき森林経営管理支援センター」開所</b> 県は所有者が高齢化などで管理できなくなった山林を自治体などが管理する制度のなかで、市町村の業務を支援するための「みやざき森林経営管理支援センター」を開所。
30日	<b>本県スギ丸太生産量30年連続全国1位</b> 2020年の本県のスギ丸太生産量は前年比6.2%減の173万9,000立方メートルで、30年連続の全国1位。1960年の統計開始以降で5番目の高水準。